

# 平成 22 年度 学校法人 滝 学 園 事 業 報 告 書

## 1 法人の概要

本学校法人滝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に基づく学校教育を行い、社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

この目的を達成するための平成 22 年度における滝学園の事業の概要は以下のとおりであります。

### ( 1 ) 法人名、所在地

( 法人名 )            学校法人 滝学園  
( 所在地 )            愛知県江南市東野町米野 1 番地

### ( 2 ) 創立者 及び 建学の精神

( 創立者 )            瀧 信四郎

実業家として成功を収めた瀧 信四郎が、「教育の任務は重大であり、その成果は永遠である。長期的視野にたてば、自分を育ててくれた郷土から将来社会に貢献できる青少年を育成することこそ最大の恩返しである。」と考え、「報恩感謝」、「質実剛健」、「勤勉力行」を建学の精神（校訓）とし、大正 15 年 4 月開校しました。

### ( 3 ) 沿革（抜粋）

大正 13 年 6 月 設立計画発表  
大正 15 年 1 月 設立認可  
大正 15 年 4 月 瀧実業学校開校  
昭和 4 年 3 月 専修科設置許可  
昭和 5 年 2 月 農業科・商業科 3 年制（乙種）併設  
昭和 11 年 7 月 財団法人設立認可  
昭和 14 年 2 月 農業科・商業科 3 年制廃止 農業部 3 年制（甲種）第 2 本科新設  
昭和 19 年 2 月 商業部・農業部第 2 本科廃止 3 月 農業拓殖科設置  
昭和 21 年 4 月 商業部再度設置 農業拓殖科廃止  
昭和 22 年 4 月 滝中学校（男女共学）併設  
昭和 23 年 4 月 学制改革により滝実業高等学校（農業科・商業科）設置  
昭和 24 年 4 月 普通科新設  
昭和 25 年 4 月 家庭科新設 5 月 滝服飾文化学園併設 3 月 農業別科設置  
昭和 26 年 4 月 滝服飾文化学園廃止 学校法人設立認可  
昭和 28 年 4 月 農業別科廃止  
昭和 30 年 4 月 家庭科廃止  
昭和 37 年 4 月 農業科を畜産園芸科に科名変更

昭和39年4月 滝実業高等学校を滝高等学校に校名変更  
昭和42年4月 畜産園芸科募集停止  
昭和45年4月 畜産園芸科廃止  
平成10年4月 商業科募集停止  
平成12年4月 商業科廃止

#### (4) 法人組織

学校法人滝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い学校を設置することを目的に創立された法人であり、法人組織については以下のとおりであります。

また、現在設置している学校は、滝高等学校及び滝中学校の2校であります。

評議員会 評議員をもって組織し、学校法人の業務、財産の状況、役員の業務執行の状況について意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴する。

理事会 理事をもって組織し、本法人の業務を決し、理事の職務執行を監督する。

#### (5) 法人役員の状況 (平成22年5月1日現在)

(注)【 】内は寄付行為中の条・項・号の該当数字

1. 理事長 滝 富夫

2. 理事(定員9名 現員9名)

理事【6-1-1】 光岡 敏雄

理事【6-1-2】 滝 富夫 社本 宮明 滝 勝夫 加藤 哲也

理事【6-1-3】 伊藤 是介 内藤 進 加藤 千麿 吉田 朋正

3. 監事(定員2名 現員2名)

監事 谷 ひさ子 福田 清成

4. 評議員(定員20名 現員20名)

評議員【23-1-1】 光岡 敏雄

評議員【23-1-2】 石田 雄治 中島 政彦 中村 康彦 森 一廣  
加藤 哲也

評議員【23-1-3】 社本 宮明 堀尾 浩二 朱宮 新治 伊藤 洋一

評議員【23-1-4】 滝 富夫 小川 宏嗣 滝 康夫 加藤 智子  
古川 秀興 古川 為之 伊藤 二三 松岡 正浩  
堀 元 滝 勝夫

(6) 法人の活動

理事会及び評議員会を開催し、学校法人の事業計画及び運営上の重要事項の審議、決定及び業務執行をする。

(7) 平成 22 年度開催の理事会、評議員会への付議事項及び決議事項の概要

年度内に付議された議案並びに、決議事項は滞りなく承認・可決されました。

2 設置する学校の概要

(1) 設置する学校名、課程、科、校長、所在地

(学校名) 滝 高等学校 全日制課程 普通科 (男女共学)  
滝 中学校 (男女共学)  
(校長) 光岡 敏雄 (滝高等学校・滝中学校 兼任)  
(所在地) 愛知県江南市東野町米野 1 番地

(2) 設置する学校の収容(入学)定員、学生数、学級数 (平成 22 年 5 月 1 日現在)

学校名	学年	収容(入学)定員	生徒数	学級数
滝 高等学校	1 年生	360 名	337 名	9
	2 年生	360 名	349 名	8
	3 年生	360 名	318 名	9
	合計	1080 名	1004 名	26
滝 中学校	1 年生	280 名	253 名	6
	2 年生	280 名	245 名	6
	3 年生	280 名	243 名	6
	合計	840 名	741 名	18
総合計			1745 名	44

( 3 ) 設置する学校の教職員数 (平成 22 年 5 月 1 日現在)

学 校 名	校 長	教 頭	教 諭 / 養 護	事 務 職 / 司 書	講 師	臨 時 職 員	校 医
滝 高 等 学 校	1	2	50 2	7 1	23	6	4
滝 中 学 校	(兼任)	2	30 1	3 1	7	1	4

3 事業の概要

( 1 ) 教育活動 (主な活動抜粋)

( A ) 教務部 (各種行事計画・実施)

( B ) 進路指導部 (進路に関する指導、土曜講座企画の主催)

日常の学習及び受験に向けての情報並びに幅広い社会的情報を提供するため、各種説明会、講演会、教養講座及び学習講座等を計画し、実施する。

( C ) 生活指導部 (生活・保健衛生・安全に関する指導、生徒会活動)

生徒の日常的な生活、安全、衛生・健康に対する指導を目的とし、各種関係団体・部署との連携を保ち、行事等を計画し、を実施する。

( D ) 情報部 (成績の処理 情報施設・設備の運営管理 図書・視聴覚活動)

生徒の学習の成果である考査結果を処理し、整備・保管する。また、学校内のコンピューター網及び保護者への各種情報提供 (Eメッセージ) の管理・運営の機能を果たす。

校内の LAN 設置を計画、運営し、情報関連教育及び授業内での IT 機器利用の強化を目指す。

( E ) 科、学年、その他

各部署の計画以外に、各学年及び各科が学校教育に必要と考える独自の計画をたて、実施をする。

(F) C言語によるロボット制御

平成 15 年度より、C 言語で動く自律型ロボットについていろいろな課題を行うことにより、C 言語プログラミングの体験、及び問題解決型の学習を行う。

(G) 国際交流活動

平成 22 年度 生徒の海外派遣

派遣目的： 英語をとおり、現地の生徒との交流を図る。また、ホームステイをすることによって現地の生活を実際に体験し、異文化に対する理解を深める。

派遣先： カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 ビクトリア  
St. Michaels University School

(2) 教育施設・設備の充実及び安全確保（修繕以外の主なもの）

教育施設設備及び教育諸環境を整備・充実させることにより教育効果を高め、また学校生活における安全を確保することを目的とする。

(3) 生徒募集活動

創立者の学校法人設立の理念に基づき、社会に貢献できる人材を多く育成するため、また、学校法人の永続的な安定した運営を図るため、ひろく生徒を募集することを目的とする。

(4) P T A 活動（学校側参加分）

本学園の生徒の保護者と教職員が緊密に連携し、生徒に対する教育を真摯に考える機会を設け、「滝学園父母と教師の会」が企画・立案した活動に積極的に参加・協力することを目的とする。

(5) 同窓会活動（学校側参加分）

広く社会で活躍中の本学園の卒業生の組織活動に積極的に参加・働きかけをし、本学園の現状報告をするなどお互いに情報交換をし、また、本学園の理想的将来像等について意見を聴取するなど、お互いに理解を深めることを目的とする。

#### 4 財務の概要（経年比較）

（財務諸表は省略しております。）

財務の概要につきましては、財務諸表の公開ページにて参照願います。

上記のとおり、平成 22 年度の学校法人滝学園の運営に係る理事会・評議員会は十分にその機能を果たし、年度内に付議された議案に対する決議事項に係る理事の業務については、滞りなく執行されたと認めます。

教育活動においては、滝高等学校・滝中学校の基本的教育目標を達成するため、当初掲げた教育計画及び教育環境の整備に係る一連の事業はすべて円滑に実施・完了され、それぞれに成果が認められました。また、未消化の教育計画及び施設設備充実計画は皆無と認めます。

以上、平成 22 年度に計画・実施した学校運営事業の執行状況、教育活動の実績、施設設備充実計画の実績及び計算書類（抜粋）を記し、事業報告とします。

平成 23 年 5 月 27 日

学校法人 滝 学 園

理事長 滝 富 夫